

しまねの自然

vol.54
令和7年3月

Feel the Nature, Shimane
行ってみよう！しまねの自然公園



写真：島根県自然公園オートキャンプ場
(西ノ島町)

【お知らせ】 島根県自然公園協会 施策に対する要望 環境省へ提出	2	【お知らせ】 島根県立自然公園条例改正	5
【お知らせ】 しまねの自然公園満喫プロジェクト	2	【研修】 自然観察指導員講習会 自然教育セミナー	6
【お知らせ】 三瓶自然館サヒメル春の企画展	3	【お知らせ】 特定外来生物について	7
【コラム】 隠岐ユネスコ世界ジオパーク	3	【お知らせ】 観音滝 「日本の貴重なコケの森」 認定	8
【自然観察会】 市町村自然観察会	4	【表彰】 表彰受賞者紹介	8



島根県自然公園協会要望活動

～施策に対する要望書が環境省へ提出されました!!～

令和6年10月9日に、楫野会長が朝日健太郎 環境大臣政務官に要望書を手渡されました。

国立・国定公園などの歩道やトイレ、東屋などの整備や修繕を行う事業の予算確保や事務手続きの簡素化、国立公園満喫プロジェクトに選定され先駆的な取組を行っている大山隠岐国立公園への継続支援などを要望しました。

要望書を受け取られた朝日政務官からは、「島根県は自然公園協会が中心となって、国立・国定・県立自然公園を整備していただいて、大変感謝している。予算についても国立公園満喫プロジェクトの中で、しっかりと予算配分していきたい」とコメントを頂きました。

要望書は、環境省自然環境局長等へも手渡しし、環境大臣等への要望書も預けました。



しまねの自然公園満喫プロジェクト

島根県の「自然公園を活用した誘客促進補助金」を活用した自然体験プログラムの取組をご紹介します！

宍道湖北山県立自然公園

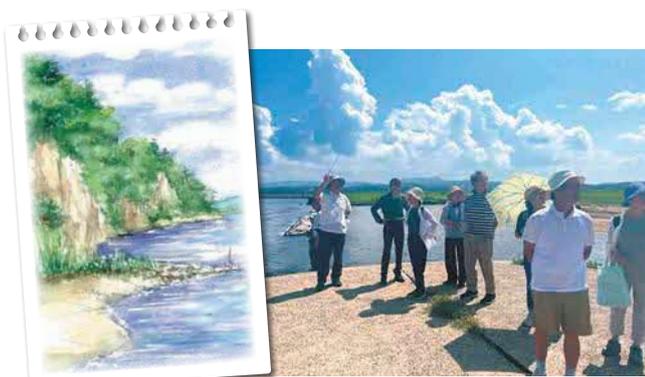
～宍道湖一周魅力発見ツアー～

実施団体: NPO法人 水の都プロジェクト協議会

宍道湖北山県立自然公園に位置し、ラムサール条約登録湿地に指定されている宍道湖周辺の魅力を発見するツアーを開催しました。



参加者は、環境ガイドの説明を受けながら宍道湖水辺八景を中心に巡り、湖畔沿いの水辺風景や歴史・自然環境スポットを觀賞し美しい湖畔景観や彩りある社寺、展望台にたたずむ古代遺跡などを写真、スケッチに収め、宍道湖の隠れた魅力を再発見する旅となりました。



中国自然歩道

(荒神谷・加茂岩倉モデルコース)

～自然歩道を活用したふるさと景観再発見事業～

実施団体: 島根尖峰会

プロアドベンチャーレーサーによる市民向け講演会を開催し、参加者は安全な登山のために必要となる基礎知識を学びました。

また、中国自然歩道の荒神谷・加茂岩倉モデルコースと木次線を絡めたモニターツアーを実施し、新たなモデルコースの開発を行いました。



三瓶自然館
春の企画展

はためく生きもの

えが
国旗に描かれた動植物

開催期間 令和7年3月15日(土)～5月25日(日)

世界各国の国旗や域旗に描かれた生きものを、たくさんの標本で紹介する企画展です。

国旗の中の生きものは、その地域の自然や歴史、そして人々の思いを表しています。

この企画展では、ライオンやワシなど迫力のある標本や映像で生きものを紹介するとともに、旗にその生きものが描かれた背景を探ります。

料金 大人：600円、小中高生：200円



サヒメルHP



隠岐ユネスコ世界ジオパークの活動紹介

in 2024

～(一社)隠岐ジオパーク推進機構と隠岐4島の活動より～

登山道整備ワークショップを開催しました!

10月27日と30日に、隠岐の島町の大満寺山で「登山道整備ワークショップ」を開催しました。また、11月1日～3日にも、西ノ島町主催で「摩天崖歩道整備ワークショップ」を開催しました。



整備前の歩道

「大地の足跡～地質から見る知夫の歴史～」講演会を実施しました!



7月15日に知夫里島観光協会主催で「大地の足跡～地質から見る知夫の歴史～」講演会を実施しました。

隠岐ジオパーク推進機構の地質研究員が、知夫里島の地質の魅力を地元の方たちに知ってもらうために、知夫里島に分布する石や、そこから読み取れる知夫里島の形成史をお話しました。

最後には、石の標本を観察する石当てクイズを行い盛り上がりました。

講演会を通じて、地元の方々に知夫里島の地質に興味を持っていただく良いきっかけとなりました。



開催
ジオパーク
協力

大地の足跡 地質から見る 知夫の歴史

知夫の〇〇は面白い!
石に秘められた
知夫の歴史を語る。
目から鱗の歴史講座

講師 中山謙三さん
隠岐ジオパーク推進機構
地質研究員

2024年07月15日(月)

開催場所 知夫村政庁2階
開催時間 13:00-15:00
対象者 知夫を深く知りたい方
自然が好きな方

参加費 無料

申し込みはこちら!
知夫里島観光協会
TEL:09514-8-2272

主催 知夫里島観光協会

当日参加OK!

自然観察会

コウヤマキ自生林観察会 吉賀町

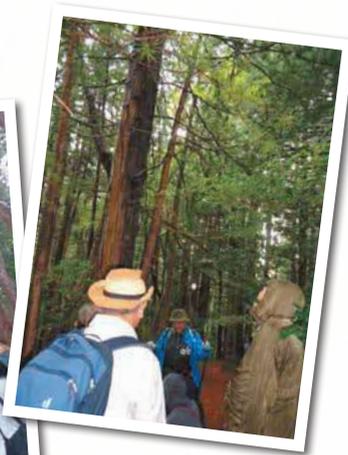
この観察会は吉賀町の町木である「コウヤマキ」を知ってもらうことを目的に、毎年8月最終日曜日に、吉賀町コウヤマキギャラリーの会が行っています。

島根県樹木医の佐藤仁志先生や森林インストラクターの方を講師に迎え、吉賀町有飯地区から九郎原地区に広がる自生林を見て歩きました。当日は台風の影響により朝から雨模様でしたが、やむまでの間に講師の方からゆっくり話を聞くことができました。

コウヤマキは水に強く防湿性があり、昔から風呂桶や橋げたの建築材に利用されてきました。また樹形の美しさから世界三大庭園樹と称されています。

参加者は話を聞き、手に取ったり、匂いを嗅いだりと、それぞれの楽しみ方で満喫されていました。下山後はおいしい豚汁と、吉賀町産米の大きなおむすびをほおばりながら「コウヤマキの本数の多さに驚いた!」「尾根沿いに一面のコウヤマキは圧巻!!」など、感想を伝えあっていました。

吉賀町出身で東京スカイツリーのデザイン監修をされた澄川喜一先生は、このコウヤマキをイメージしてデザインされたと聞いています。皆さんも、是非一度このコウヤマキに、会いに来てみてはいかがでしょうか。



地倉沼チョウジソウ観察会 津和野町

毎年5月中旬頃の日曜日に、千倉沼を守る会を中心に公民館と連携してチョウジソウ観察会を開催しています。今年度は5月26日(日)に観察会を開催し、島根県立三瓶自然館サヒメルより、井上雅仁先生を講師にお迎えし、丁寧でわかりやすい解説をいただきながら、可愛らしいチョウジソウを間近で見ることができました。

千倉沼を守る会では、利用者が安心・安全に利用できるよう自然歩道の設営や維持管理等も丁寧に行っているため、観察ルートは大変歩きやすく、町内外問わず、県外や地元の帰省客からも観察会に参加し、子どもから大人まで幅広い参加をいただき、毎年賑やかに開催しています。



また、辺り一面に咲き乱れるチョウジソウやハンノキの大群落など、貴重な湿生植物が地倉沼には点在しており、ふるさとの宝や魅力をしっかり感じることで観察会です。

今後も、千倉沼を守る会のみなさんを中心に、継続していきたい貴重な事業の一つです。



島根県立自然公園条例の一部を改正します

【改正の経緯】

県では、県内の優れた自然の風景地の保護と利用の増進を図るため、自然公園法に準拠して島根県立自然公園条例を定め、県内11カ所の県立自然公園を指定しています。

今般、自然公園法の改正及び刑法等の一部を改正する法律の施行に伴い、下記のとおり、島根県立自然公園条例が一部改正となります。

記

1. 島根県立自然公園条例の主な改正概要

(1) 自然体験活動促進計画に関する手続の新設

市町村や事業者等で構成される協議会が、自然体験活動の促進を図る計画（自然体験活動促進計画）を策定し、知事の認定を受けた場合、実施に係る許認可手続を簡素化します。

(2) 利用拠点整備改善計画に関する手続の新設

市町村や事業者等で構成される協議会が、自然と調和した街並みづくりを図る計画（利用拠点整備改善計画）を策定し、知事の認定を受けた場合、実施に係る許認可手続を簡素化します。

(3) 県立自然公園における利用規制の強化

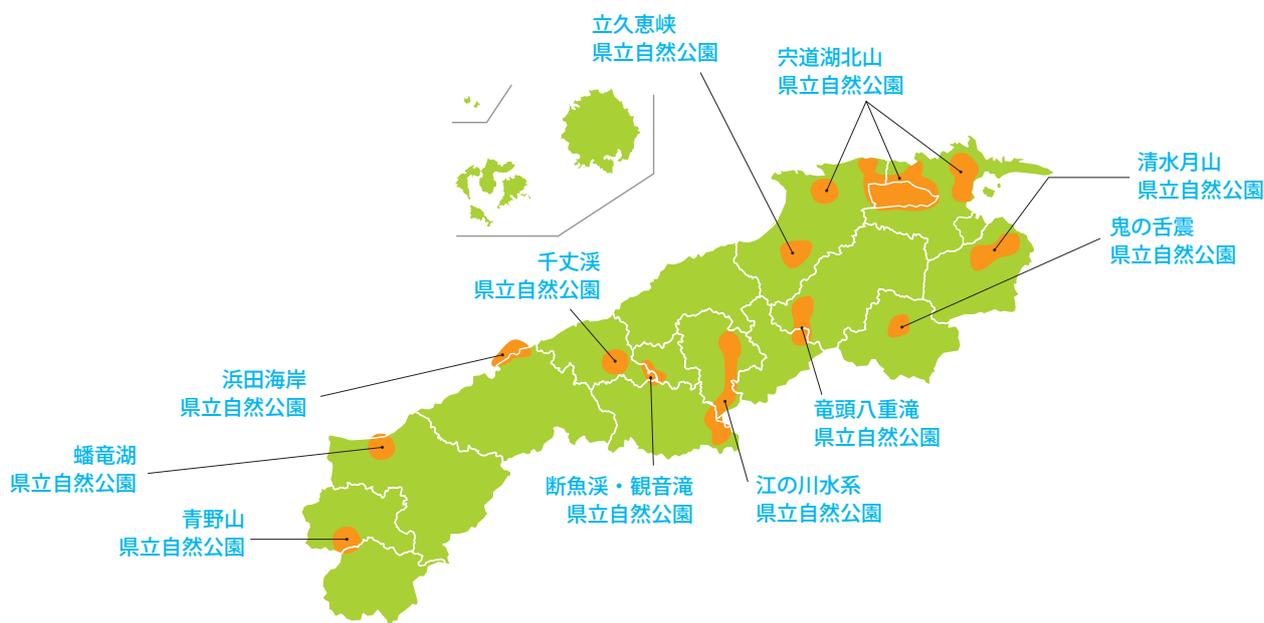
野生動物に餌を与えること及び接近すること等、野生動物の生態に影響を及ぼす行為で、県立自然公園の利用に支障を及ぼすおそれのあるものを規制します。

また、特別地域（景観の優れた地域）の違法な工作物の設置や木竹の伐採等、行為規制に違反した場合の罰則を強化します（6月以下の懲役又は50万円以下の罰金→1年以下の*懲役又は100万円以下の罰金に引上げ）。

※令和7年6月1日から「懲役」は「拘禁刑」となります。

2. 施行期日

令和7年4月1日施行。ただし、上記(3)の改正は、令和7年7月1日施行。



第610回

NACS-J自然観察指導員講習会 in 三瓶青少年交流の家

令和6年6月22日（土）・23日（日）の2日間で「自然観察指導員講習会」を開催しました。

自然観察指導員とは、地域に根ざした自然観察会を通じて自然の価値を伝え、守る活動につなげるボランティアリーダーです。

講習会は、講義と野外実習で構成されており、講義では自然保護や自然観察の考え方や手法を学びました。野外では自然観察の素材を探し、観察会を企画し、他の参加者に向けて実際にミニ自然観察会を行いました。

今回のミニ自然観察会は大雨の中での開催でしたが、受講生の方は大雨の中でもできる自然観察のネタを見つけ、まさに「自然観察は、いつでも、どこでも、だれとでも」を実行しておられました。



受講後のアンケートでは「自然に向き合う新たな視点をたくさん教えていただいた」「なにげなく見過ごしている事象

についても自然観察会ができるということを学んだ」「どんな方にも楽しんでもらえる観察会とはどのようにしたら良いか丁寧に教えていただき、非常に勉強になった」といった感想をいただきました。

県としては、今回の研修で学んだ知識を活かして、活躍していただける機会を設けるなどし、自然を愛する人の輪を増やしていきたいと考えています。



大自然の中で“自然教育セミナー”を開催

大自然の中で、親子一緒になって自然教育を体験する「自然教育セミナー」を、今年は夏休みに開催しました。

7月27日（土）は邑南町の断魚溪・観音滝県立自然公園内にある深篠川キャンプ場で川遊び、8月10日（土）は奥出雲町の比婆道後帝釈国定公園内にある吾妻山大膳原キャンプ場において山遊びを行いました。両日とも募集枠はすぐにいっぱいになり、自然教育への関心の高さがうかがえました。本セミナーでは、自然の中で楽しく遊ぶことはもちろんですが、楽しく遊ぶための“ルール”（例えば、川で遊ぶ際のライフジャケットの必要性など）を親子で学ぶことを大切にしています。参加者の皆さまからも「親子でとても良い時間が過ごせた」「また来年も是非開催してほしい」などの声をいただき、開催して本当に良かったと思える、そんなセミナーになりました。



⚠️「特定外来生物」に気をつけよう⚠️

野外に生息する「外来生物」の数は2,000種を超えます。中でも、生態系などに被害を及ぼす恐れのあるものは「特定外来生物」に指定され、飼育・栽培、運搬などが規制されています。それらの一部を紹介します。

生態系に被害を与えるもの

5月から7月にかけて黄色く目立つ花を咲かせる「オオキンケイギク」。

もともとその場所に自生していた草花よりも繁殖力が強く、在来種の生育場所を奪ってしまい、生物多様性を損なっています。



写真提供：三瓶自然館サヒメル

農林水産業に被害を与えるもの

春から秋にかけて細い柄を伸ばし、1.5cmほどの球形の白い花をつける「ナガエツルノゲイトウ」。

水路を塞ぐなど、河川や農業への被害を引き起こします。



写真提供：辻井要介氏

人に危害を与えるもの

近年、県内でも発見されている「セアカゴケグモ」。

触ると咬まれることがあり、痛みや腫れ、発疹などの症状がでることもあります。発見しても素手では絶対に触らず、駆除するときは市販の殺虫剤を噴霧するか、踏みつぶしてください。



写真提供：香川県

環境省のホームページで「日本の外来種対策」をまとめていますので、ご覧ください。

環境省 外来生物 検索



特定外来生物を見つけた場合には...

お願い

1 生物の写真を撮影し、

写真は、定規などと一緒に撮影していただくと、大きさが分かりやすく種類が見分けやすくなります

※植物の場合、バインダーやノートなどを背景にし、葉のつき方が分かるようにアップで撮影した写真と生育状況全体が分かる写真を撮影してください。

2 写真をメールで以下の宛先に送信してください。

E-mail
gairaiseibutsu@pref.shimane.lg.jp

※見つけた場所や時間、発見した時の様子など、できるだけ詳しくお知らせください。

※特定外来生物（昆虫・クモ）を発見した際は、最寄りの市町村へお問い合わせください。

観音滝「日本の貴重なコケの森」認定

江津市にある島根県立自然公園「観音滝」が希少なコケの生息と美しい景観が評価され、日本蘚苔類学会の「日本の貴重なコケの森」に認定されました。

観音滝への遊歩道には環境省が準絶滅危惧種に定めるヒロハシノブイトゴケやコキジノオゴケ、カビゴケなどが生育しています。

11月22日に、学会の広島大大学院統合生命科学研究所山口富美夫教授が江津市役所を訪れ認定証を授与されました。同日の記念講演では、学会員の岡山コケの会関西支部道盛正樹氏より、2015年に始まった苔栽培や自然保護への取り組みなど認定に至るまでの経緯を話され、官民による連携がしっかりできていることを評価されました。

全国では32カ所目、島根県では初めての認定により苔への関心が高まり、貴重な苔を保護する大切さを改めて意識し守る機運が高まればと思っています。



令和6年度 自然保護関係表彰受賞者一覧（自然環境課）

環境保全功労者に対する知事感謝状

出雲市 周藤 征一さん

長年、自然保護レンジャーとして中国自然歩道（鱈淵寺・大社・立久恵コース）や宍道湖北山県立自然公園を中心にパトロールを行い、登山道など公園施設の状況を確認し、県に報告するなど、自然環境保全に貢献している。



自然公園指導員表彰（自然環境局長）

松江市 板倉 宏文さん

「宍道湖・中海」のラムサール条約登録湿地で講演やゴミ回収を通じ、環境保全活動に尽力するとともに、動植物の保護や自然観察指導、野鳥生息調査も継続して行い、自然環境保護思想を普及している。



地域環境保全功労者 環境大臣表彰

安来市 西谷川オオサンショウウオ繁殖地保護育成会

多年、オオサンショウウオ繁殖地の自然環境保全活動を継続し、オオサンショウウオの生息環境・巡視路の整備を行うことで保護啓発に尽力している。



自然公園関係功労者 環境大臣表彰

大田市 坂本 弘治さん

自然公園指導員として三瓶山で活動し、美化清掃や自然解説、事故防止に努めるとともに、青少年に自然体験を提供し、自然保護思想の普及に貢献している。



「みどりの日」自然環境功労者 環境大臣表彰

松江市 法吉・白鹿・真山の自然と文化を育む会

「法吉ミスジカワノナ生息地」や「法吉北部地区自然観察路」で案内道標や階段の設置、安全ロープ取り付けなどを行い、地域の自然環境整備に尽力している。



島根県各種功労者表彰（自然保護）

隠岐の島町 八幡 浩二さん

大山隠岐国立公園の隠岐島地域で自然環境の保護活動を実施し、特に、地形・地質の生態系保全を進め、隠岐全島での世界ジオパークの取り組みに貢献した功績は高く評価される。



島根県各種功労者表彰（自然保護）

川本町 川本町自然大好きネットワーク

全国に誇れる希少植物「イズモコバイモ」「ユキワリイチゲ」を保護するために平成16年に設立され、以来、自生地の維持・保全活動を行うとともに、地域の環境教育にも寄与し、その功績は評価に値する。



秋の褒章：藍綬褒章（自然保護功績）

奥出雲町 佐佐木 幸雄さん

多年にわたり、環境省自然公園指導員をはじめ、島根県自然保護レンジャー、島根県自然解説員として、主に比婆道後帯釈国定公園において、自然保護活動と自然保護思想の普及啓発に尽力している。

